



小諸市内の児童館や基会所で囲碁の愛好家が子どもたちに囲碁を教えています。“最近ではおれたちよりも強い中学生もいるんだよ”

公益財団法人  
長野県長寿社会開発センター

## あさひが当たるまちづくり

御代田町社会福祉協議会



まち全体に“あさひ”が当たるように、との思いが込められた「地域の緑側 あさひ」

11月初旬、浅間山の稜線がうっすらと白く刻まれた朝、まちなかの一軒家から慌ただしそうな声が聞こえてきました。玄関先に「地域の緑側あさひ」と看板が掲げられたこの家は、家主不在となっていた住宅を地域の交流の場として、“地元のために貢献したい”という家主のご親族や区長さんなどの協力により社会福祉協議会が開いたものです。ひとり暮らしの高齢者が孤立せず、子育て中の家族も悩みを抱え込まないように、気軽に立ち寄れて互いに支えあえるよう多くの方々に利用してほしいとのことでした。社協の担当者さんに伺うと、今後は認知症のご家族の交流（オレンジカフェ）や子育て支援などを企画する一方、いろいろ決めごとはずらずに、

利用する当事者に決める余地を残して活動をゆだねることで、実情に応じながら地域に“縁側”が浸透していくことを期待したいとのことでした。

## 歌は世につれ世は歌につれ

プラチナサポーターズ松本

毎月第2木曜日、松本市民活動センターで“プラチナサロン”が開かれています。10月のサロンは午前は“雑学のすすめ”、午後の“楽しい簡単マジック”では楽しみながらマジックを学ぶサロンでした。



“雑学のすすめ”は、おそろいのグリーンのエプロンを身に着けたプラチナサポーターの杉山さんが前に座り、「今日はみなさんと言葉のキャッチボールをしてみたいと思います」とはじまりました。杉山さんを囲んで半円状に腰をかけ、信濃の国の歌詞を1番から6番まで追いな

がら自然や歴史、その土地のおいしい食べ物や出来事等、一人一人が回想したり思いを巡らせながら自然にやり取りをして信濃の国を縦断しました。



「こっちがここで・・・ん？ちがうかな？」

午後はマジックでボランティア活動をされている柴山さんにマジックを教えていただきました。前後左右の方とマジックを練習しました。マジックを通して参加者が繋がり、気軽なおしゃべりに花が咲きました。ここで学んだマジックは其々が、地域や家族で披露され、つながり笑い楽しい時間を生み出すものになるのだと感じました。みなさんも参加してみませんか。

## 城山買い物お助け隊

### 茅野市

約220世帯が暮らす茅野市城山は南に面して日当たりがいいが急峻な坂道の多い地区です。昭和40年代初めの分譲から半世紀近くが経ち、住民の方々にも不便なことが出てきました。こうした状況の中、急坂が多く商店のない城山地区の実情を考え、平成19年に買い物支援を施行してみようと福祉推進委員が買い物支援をスタートさせ、平成20年10月、正式に「城山買い物お助け隊」が発足しました。

利用する方からは大変喜ばれ、日頃一人暮らしで話すことの少ない方にとっても目的地までの車の中は楽しいおしゃべりの時間になるそうです。支援会員のみなさんが移動中の車の中で話すちょっとしたつぶやきや様子から、利用者のニーズをしっかりとキャッチし新たな活動へと柔軟に変化させていくしなやかさも素晴らしいことだと感じました。また、利用者を3つの

グループに分けて、利用者と支援会員の間を取り持つ調整役の負担を軽減しながらバランスよく対応していることなど、利用者、支援者双方に関わりやすい仕組みづくりに常日傾心がけてらっしゃいます。



安心して自分らしく暮らしやすい地域にしたい！という想いが“縁側”活動に発展しました。

最近では、退職して時間に余裕のできたお子さんと一緒に買い物へ行くことが可能となり、同支援の利用を中止する方もいたとのことですが、困ったときには「お助け隊」がつなぎ役になりながら、住みなれた家で地域の人と繋がり、いつまでも暮らせる城山地区。これからの地域の支えあいを考えるとき、城山お助け隊の仕組み、そして何よりも誰もがその人らしく安心して暮らせる地域にこだわる支援者の方々の想いを学びたいと思います。



お助け隊メンバーの奥さん手作りの桜の花入り寒天よせをいただきながら、お助け隊や縁側誕生のお話を伺いました。

（編集・発行）

公益財団法人長野県長寿社会開発センター  
〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号長野県社会福祉総合センター5F  
TEL 026-226-3741 / FAX 026-226-8327  
info@nicesenior.or.jp / http://www.nicesenior.or.jp